

## 桜町地区第1回まちづくり勉強会 記録

日時	平成30年9月8日（土） 10時～12時	
場所	桜町3丁目自治会館 1階	
出席	24名	
議題	1. これまでの経緯と今後の予定について 2. 勉強会の目的と活動内容 3. アンケート結果の報告	4. 重点課題と進め方 5. グループ別検討 6. 今後の予定
質疑	<p>会員：桜町3丁目は消防車や救急車が入れない。入れたとしても方向転換してからでないと出られないという現状を日々体感しているが、その一方で、火災対応のための消火栓の配置は、現状どうなっているのか。</p> <p>市：消防署の話では、狭い道路では大きい消火用車両は入れないが、小さい車両を使って消火栓からホースをつないで初期消火ができるように、狭隘道路用の消防計画を考えており、その計画を賄える消火栓の配置にはなっているとのことである。しかし、有事のときには消火栓が使えないこともあるので、ポンプ車両が入れる道路もほしいと思っている。</p> <p>会員：初期消火を行う自警団的な組織は、地区内にあるのか。どこにあるのかが意識化できれば、いざというときに皆で声をかけられると思う。</p> <p>市：確認する。</p> <p>会員：防火水槽については、具体的な設置基準がある。川口市における設置の考え方や整備の現状について情報提供してもらえると皆さまに分かりやすいと思う。</p> <p>会員：グループ別検討では、道路ネットワークに特化した話をするのか。まちづくりのことを考えると、それだけではなくて、なぜ道路が必要なのか、どういう道路が必要なのかという問題もあると思う。そのような部分が討議されない中で、この道路が良いのか、悪いのかという話になってしまうと間違ってしまうと思う。3丁目では全体的に見ると、高齢化社会で、坂が多く、道路が狭く、公園や学校の地盤が弱いと聞いている。そのような基本的なところが分からないうちに、道路の話にはならないのではないかと思う。まずは、どのような地域にしていきたいのかという話が先にあり、そのようなまちづくりをするためには、こういう道路が必要という話にならないとおかしいのではないか。</p> <p>市：どのような地域にしていきたいのかについては、一番大事なところかと思う。そのような入口論から議論していただいて良い。その延長線上で、道路整備と並行して考えていただければ良い。期限については、市の考えはあるが、急いで後戻りできないようなことにならないように、どういう地域にしていきたいのか、桜町地区の思想や考えを反映させられると良い。他の地域では、まちづくり憲章という地域の</p>	

ルールをつくっているところもあり、その延長線上で、都市計画で言えば地区計画のルールなど、いろいろな手法があるので、それをしっかりと議論していければと思っている。消火栓の配置や消防水利、自警団の状況については消防部署に次回の勉強会までに聞いてお応えしたい。

会員：道路計画を決める最終的な期限はいつか。

市：市としては、今年度は勉強会、来年度は協議会、再来年度は事業化という案で考えている。今年度の勉強会では、道路ネットワークの部分を決めたいと考えていたが、どういう地域にしたいのかが議論できないと、道路ネットワークの議論ができないということであれば、その分遅れていくことにはなるが、期限は自由な状況であることを頭に入れてもらいたい。

会員：事業には資金源が重要である。公園に使えるのか、細かい道路の整備に使えるのか、幅員が広く長い6m道路の整備ができるのか。2、3年前に、里地区で皆の意向を踏まえて事業を立ち上げて参加していたが、だんだん煮詰まってきたら補助金はそこには使えないといった話が浮上した。桜町地区で事業を進める予算とどういうものに使えるのかを皆さんにお示しいただいた上で、皆さんからまちづくりの意見を聞いたほうが良いのではないかと。要望ばかり並べても進捗が遅くなり、無駄な時間にもなると思う。

市：事業別に資金源は、市・県・国と様々である。芝地区では、国と市で事業費を折半している。桜町地区でも、芝地区同様、住宅市街地総合整備事業を入れ、財源を国と市が1/2ずつで考えている。事業費については、道路を何本入れるのかによる。参考までに、芝地区では128億8千万円かかっている。事業費の補助項目として道路や公園整備がある。公園については、区画整理の場合、区域の3%は確保するというルールがあり、桜町地区でも同じ目標とするのであれば、その目標に近づけて用地の確保していくことになる。1㎡あたり10万か、20万かは地域によって格差がある。道路については、土地収用法に基づいて買収するのであれば税金の控除や、事業に対する補助が受けられる。用地買収には、全国同じ基準に基づいて補償金が出る。国からの補助金は、東日本や熊本、北海道等、優先順位が高い、復興事業費が莫大に日本全体にかかってしまうと、削られることもある。そのときは仕方がないが、補助金を要望するための整備計画を来年度、再来年度につくりたいと考えている。その段階で資金を正確にお示しできると思う。

会員：落合公園の先から西友方向に大がかりに6m道路を入れ、併せて防災公園を整備する等、皆さまからの細かい要望にお応えする予算は確保できるということか。

市：計画をつくり、県を通じて国に提出する。国に認めてもらえれば、国費がつき、それに合わせて市もお金を出す。そのための整備計画を次年度の協議会の中でお話ししていければと考えている。

## グループ別検討の記録

お住まいのエリアが近い方同士が集まったグループで、道路ネットワーク上の課題や道路整備の必要性等について検討しました。

### A班の記録

#### 道路や建物、空き家等の状況

- ・桜町4丁目の高台の地域には、4m道路が十分に整備されており、生活する上で問題はない。
- ・桜町小学校は災害時の避難所となる。
- ・小学校は県道から低い位置にあり、雨水が県道から流れ込む。

#### 道路ネットワーク上の課題

##### (アクセス道路)

- ・そもそもアクセス道路は旧公団住宅のための道路であった。今回の道路検討も、結局はコンフォール周辺住民のための道路検討ではないのか。
- ・今回からは、これまでのアクセス道路計画は白紙に戻し、地域住民の方が納得のいく道路計画を勉強会の皆さんと新たに検討するものである。(事務局)
- ・まずは現状を把握し、地域全体をみて、何が問題なのかを確認するところから始めるといい。

##### (桜町小学校への通学路)

- ・桜町小学校への通学路が変更された。
- ・旧通学路は浄水場あたりから小学校前の交差点に向かう道路で、南側ががけ(擁壁)で、舗装も凸凹で歩きづらく幅も狭いという理由らしい。
- ・一本北側の道路に変更されたが、大雨の際は冠水することや、車も通るなど通学路として問題があるのではないか。

##### (駅へ向かう北側の道路)

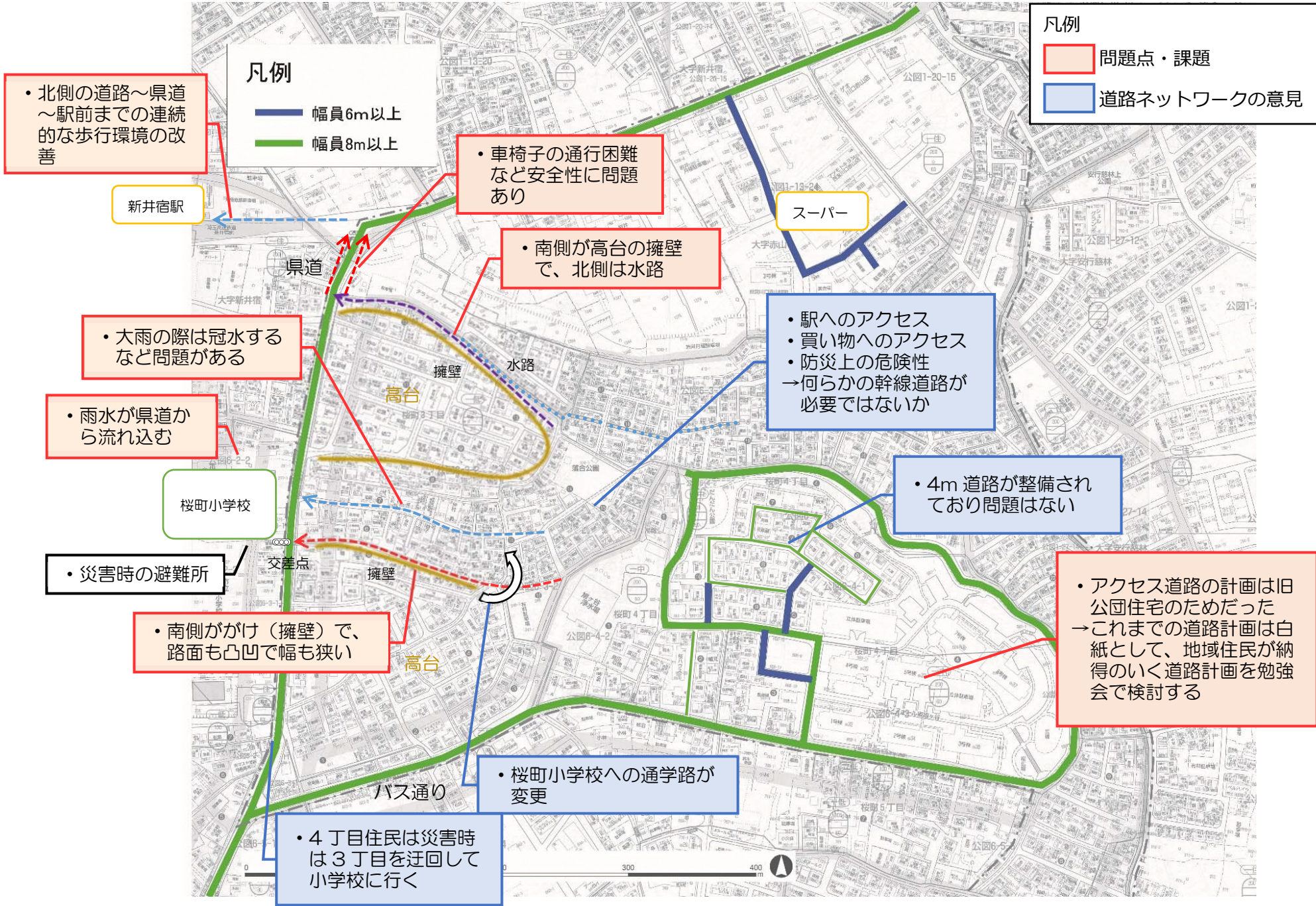
- ・新井宿駅前の開発の動向も考えると、北側の道路を通すといいのではないか。
- ・駅へアクセスする地区北側の道路は、南側が高台の擁壁で、北側には江川へ続く水路がある。
- ・県道は歩道が狭く子供が道路に飛び出したり、車椅子の通行が困難など、安全性に問題がある。
- ・北側の道路が整備と合わせて、県道やその先の駅前までの歩行環境の改善が必要。

##### (その他)

- ・4丁目住民としては、災害時には3丁目を通過せずバス通り～県道へ迂回するだろう。

#### 道路整備の必要性

- ・芝地区の状況と比較してしまうと、桜町には何本も何本も広い道路が必要にみえる。
- ・災害時に避難する状況になれば、がけ崩れなども心配なため、安全な道路があって通り抜けられればいいと思う。
- ・昔から住んでいる一住民としては、駅や買い物へのアクセスの不便さ、安全とはいえない通学路の指定状況などを考えると、何らかの生活上の幹線道路が必要な地区ではないかと思う。



**凡例**

- 幅員6m以上
- 幅員8m以上

**凡例**

- 問題点・課題
- 道路ネットワークの意見

• 北側の道路～県道～駅前までの連続的な歩行環境の改善

• 車椅子の通行困難など安全性に問題あり

• 南側が高台の擁壁で、北側は水路

• 大雨の際は冠水するなど問題がある

• 駅へのアクセス  
• 買い物へのアクセス  
• 防災上の危険性  
→何らかの幹線道路が必要ではないか

• 雨水が県道から流れ込む

• 4m 道路が整備されており問題はない

桜町小学校

• 災害時の避難所

• 南側ががけ（擁壁）で、路面も凸凹で幅も狭い

• アクセス道路の計画は旧公団住宅のためだった  
→これまでの道路計画は白紙として、地域住民が納得のいく道路計画を勉強会で検討する

• 桜町小学校への通学路が変更

• 4丁目住民は災害時は3丁目を迂回して小学校に行く



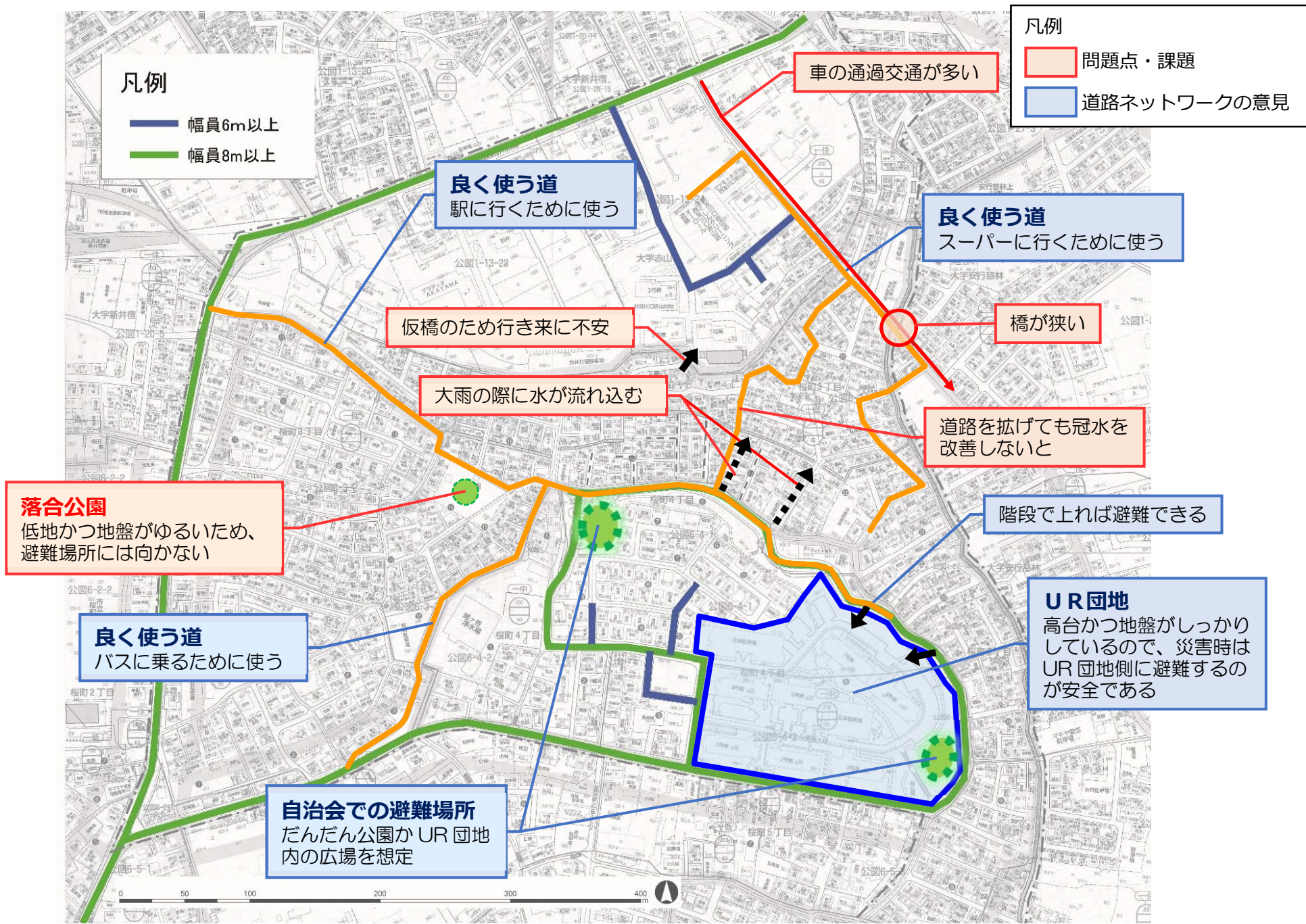
## B班の記録

### 道路や建物、空き家等の状況

- ・近隣で日頃利用する場所は、西友、マルエツ、新井宿駅、バス停などと限られている。
- ・西友東側の県道から入ってくる道路は、交通量が多い。

### 道路ネットワーク上の課題や道路整備の必要性

- ・地区内には東京方面や鳩ヶ谷方面への送電線が通っている。道路拡幅の際に鉄塔等に移設することはできるかどうか。
- ・公団北側に雨水貯留槽が整備されたが、大雨時には排水口が溢れ、外周道路北側に水が流れ込む。道路を広げても冠水は改善されないと困る。
- ・高台であり、かつ地盤がしっかりしているので、災害時には UR 団地側に避難するのが安全である。
- ・自治会での避難場所は、だんだん公園か、UR 団地内の広場を想定している。落合公園は低地であり地盤もゆるいので避難場所には向かない。
- ・既に人が住んでおり、お年寄りも多いので道路拡幅は難しいのではないかと。拡幅した場合に沿道の人々の生活が厳しくなるのではないかと問題がある。



**凡例**

- 幅員6m以上
- 幅員8m以上

**凡例**

- 問題点・課題
- 道路ネットワークの意見

**良く使う道**  
駅に行くために使う

**良く使う道**  
スーパーに行くために使う

仮橋のため行き来に不安

橋が狭い

大雨の際に水が流れ込む

道路を拡げても冠水を改善しないと

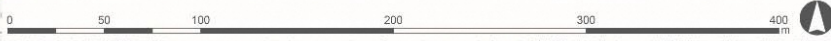
**落合公園**  
低地かつ地盤がゆるいため、避難場所には向かない

階段で上れば避難できる

**良く使う道**  
バスに乗るために使う

**UR団地**  
高台かつ地盤がしっかりしているため、災害時はUR団地側に避難するのが安全である

**自治会での避難場所**  
だんだん公園かUR団地内の広場を想定



## C班の記録

### 道路や建物、空き家等の状況

- 道路は全体的に狭い印象であり、道路幅員の図面で4m以上となっている部分についても、感覚的には4m未満と感じている道が多々ある。
- 地区全体として、電柱が多く、幅員の狭い道路は災害時に倒れてきたら通行できなくなるため心配である。家の裏から避難できるなど改善の必要あり。

### 道路ネットワーク上の課題

- 部分的に4m未満の道路や車両が通行できない道路があるため改善が必要。

### 道路整備の必要性

- 全体を拡幅する必要はなく、部分的に拡幅して、回転場を設けて緊急車両等の車が方向転換できれば十分である。
- いきなり6m道路を検討するのではなく、まずは地域の課題を把握し、そのあとで身近な道路（4m未満道路）をどこから改善するかについて考えるべきである。身近な部分から徐々に考えていく必要がある。
- くねくねした道はこの地域の個性でもあるため残したい。地区全体を改善するのではなく、車いすの方や高齢者の方の生活、通勤等の利便性を考慮して、主要な道路を整備するのが良いのでは。
- 道路を拡幅する場合は、車がたくさん通る道にはならないように、車が侵入しづらい工夫が必要である。生活しやすいまちを維持したい。

### その他の意見

- 長期の計画と短期で解決できる課題に分けて考える必要がある。短期で解決できることについては、検討を進めるべきである。いつ災害が来るかわからないため、喫緊の課題を解決したい。（ガードレールが障害となって緊急車両が通れない 等）
- 水利整備計画や、その他防災の設備や計画を把握してから（図面に落とした状態で）道路の話をすべきである。
- 消火器だけでは初期消火が間に合わないため、防火水槽等を整備できると良い。
- 災害時のことを考えると、浄水場を有人化するべきである。これは短期で解決できる課題。
- 浄水場があり、水がたくさんあるため、災害時に上手く活用できないか。

凡例

- 幅員6m以上
- 幅員8m以上

凡例

- 問題点・課題
- 道路ネットワークの意見

・旧商店街の街路灯が多数残っており、災害時に倒れてこないか不安

・歩道が狭いため、県とも協議する中で拡幅できると良い

・舗装が凸凹であり、車いすで通るのが大変

・まずはこの2か所をセットで解決できるとだいぶ改善される

・市で土地を買い取って道路にできないか

・緊急車両が通れない

・ガードレールがなくなれば車両通れるようになる

・以前救急車が来た際にここから先通れなかった

